



表彰式で喜びを表す受賞者の皆さん

自慢の歌声を披露

■第22回藤田まさ先生を偲ぶ歌の祭典カラオケコンクール

藤田まさ先生を偲ぶ歌の祭典が10月21日、い〜らで開催されました。

藤田先生は、明治41年に本市（細江）に生まれ、「岸壁の母」「浪花節だよ人生は」などのヒット曲を手掛けた作詞家です。郷土の偉人の業績を称えるために毎年開催されているこの祭典は、今年で22回目を迎えました。市内外からの出場者約80人の自慢の歌声に、会場の観客からは大きな拍手が送られました。なお、グランプリには、「ためらい」を歌った新藤稔さん（東京都）が輝きました。

榛原地区の水産業発展のために

■榛原地区4漁協合併仮契約書調印式

相良、地頭方、御前崎、吉田の榛原地区4漁業協同組合の合併仮契約書調印式が10月17日、御前崎漁協で執り行われました。

榛原地区の水産業の発展を担うために合併するもので、11月2日の各漁協による臨時総会で組合員の承認が得られ、その後の県の認可後、平成25年1月1日に新漁協が誕生します。

新漁協名は「南駿河湾漁業協同組合」で、正組合員数は930人（県内第2位）、水揚げ高は33億7487万円（県内第3位）になる見込みです。



合併仮契約書に調印し、握手を交わす各漁協の組合長



会場内で献穀米を手に記念写真(前列が櫻井さん夫妻)

天皇陛下に献穀米を献納

■平成24年度新嘗祭献穀献納式

新嘗祭献穀献納式が10月29日、皇居で執り行なわれ、献穀者の櫻井賢一郎さん夫妻（勝間）や西原市長らが天皇陛下に献穀米を献納しました。

新嘗祭は11月23日に行われる、天皇が全国の新米を神々に供える宮中行事で、市からの献穀は35年ぶり。献穀米は精米済みの「コシヒカリ」1升（約1.5キロ）。6月の御田植式から丹精込めて育てられ、9月の抜穂式で丁寧に刈り取られました。

式後、櫻井さんは、「無事に献穀が済んで肩の荷が下り、ほっとしました」と話してくれました。

宝くじ助成で祭典の備品を整備

■財団法人自治総合センターコミュニティ助成事業

大寄地区では10月、地域の「大寄秋祭り」で使用する屋台を整備しました。

財団法人自治総合センターが行う「宝くじ助成事業」を活用して、屋台の車台部分の修繕と舞台、発電機などを新調したものです。

10月27日、28日には祭典が行われ、多くの住民が、屋台の引き回しや恒例の「大の字焼き」などを通じてふれあいました。この事業により、伝統文化の保存、継承とさらなる地域の連携やコミュニティの活性化が期待されます。



宝くじの助成事業で整備した大寄地区の屋台

広報担当がどこにも取材に行きます。あなたの身近なホットで楽しい話題やイベントなどの情報をお待ちしています。

秘書広報課 ☎(23) 0052 ✉seisaku@city.makinohara.shizuoka.jp



自分たちが開発に携わった商品を店頭で販売する生徒たち

おっ、うまいじゃん！

■相良高校生とコンビニエンスストアによる商品の開発

相良高校商業科生徒とサークルKサンクスが共同開発した商品が10月23日から販売され、生徒が牧之原波津店で販売を呼び掛けました。県内の食材を使って商品を作る同社の企画に応募があった県内14高校・111作品の中から、地元特産のお茶を使った同校のスイーツのアイデアが、今年6月に採用されました。

生徒たちが、味や見た目、包装などを企業の担当者と協議を重ねて開発したのは「茶ーズクリームパイ」。静岡牧之原茶「望」の粉末を練りこんだクリームを使って、女性が食べやすいよう細長いパイに仕上げました。

1個126円（税込）で、11月19日まで県内の同店舗約350店で販売されています。

牧之原市から世界へ

■ゴーセンカップ国際レディースオープンテニストーナメント

「ゴーセンカップ・スウィングビーチ牧之原国際レディースオープンテニストーナメント2012」が10月14日から21日まで、静波リゾートホテル・スウィングビーチで開かれました。

日本女子選手が国内外のメジャー大会へ出場するための登竜門となるこの大会には、国内外から多くの選手が参加し、8日間にわたる熱戦を展開。

シングルスはグラッチ・アレクサ選手（アメリカ）が、ダブルスは穂積絵莉選手・加藤未唯選手のペアが優勝しました。



シングルス決勝戦でサーブを打つ選手



手作りの商品などを販売するさがら作業所のブース

誰もが楽しめる場所を目指して

■さざんかふれあい広場

さざんかふれあい広場が10月7日、さざんかで行われました。

子どもや高齢者、障がい者など地域住民の誰もがふれあいを楽しめる場を提供しようと、市社会福祉協議会が毎年開催しているもの。催事には、福祉、ボランティア団体や榛原高校など35団体が出店し、約2,000人の来場者でにぎわいました。

福祉団体が出店したブースでは、障がい者が作ったクッキーやカップケーキなどが人気を集めていました。